

令和元年八月二十三日 信者心の道勉強会

神 示

供丸齋 供丸姫 使者二方が歩みし救世の道に

今^{今日} 人類は 神魂に直接 運命実体を通し 触れることがかなう

「道」を守りて「光」^{みち}が通る時代に 人類は入っている

信者に申す

「運命」の尊さ 大きさに気付いて 家族で「教え」を学び

互いの運命を重ねて「生きる」努力をする

「教え」を「人生」の支えにできるなら 人は皆^{人間} 時代の力^{運命}を受けて

ますます夢かなう人生を歩んでゆける

今^{今日} 気付き 悟るべき^{真実}ことは 「実体」を高めること

「実体」の低さに 世界は 運命の力を生かせず

真理なき知識に心乱され 悩み 迷いを深めている

仕合せの基^{もと}は和のある家庭――

「真理」に生きる家庭に 人間の運命実体は磨かれ

社会を「正道」へと導く人^{人間}が育つ

「開運」かなう時代を迎え 今こそ 心正しい「信者の道」を歩む時^{時代}